

作付品種の特長を学ぶ



JAきゅうり部会は1月24日、夏秋きゅうり施肥指導会・品種説明会を3会場で開き、平成31年度の作付品種の特長や栽培管理などについて学びました。

健康寿命100歳を目指して!



JAハートフルとJA女性部は1月、24日、衣川荘で交流集会を開き活動事例の発表や口腔体操などで交流を深めました。

1年の五穀豊穡と
除災招福を祈願



毛越寺二十日夜祭が1月20日行われ、JA職員らも参加し威勢よく練り歩きました。

季節の野菜は栄養満点



JA女性部花泉中央支部の地産地消活動グループは1月23日、チンゲンサイやキャベツなどの野菜を使った料理講習を行い、ちらしずしや春巻きなど5品を作りました。

いちのせきのおいしさを届けたい



いちのせき産食材消費拡大フェアIN 東京赤坂が1月18日に行なわれ、いわて南牛や原木シイタケ、イチゴの素材の味を生かした料理で消費者へPRを行いました。

生産者がおいしさをPR



JAりんご部会は12月8日、名古屋市内のスーパー2店舗でサン金星のフェアを行い、生産者が試食を勧めながらPRしました。

かわいい『うさぎのおひな様』が完成



JA女性部藤沢中央支部 黄海支部は1月13日、市民センター黄海分館でJA生活シーダーの伊東澄子さんを講師に手芸教室を開きました。

細かい絵柄は丁寧に



JA女性部藤沢中央支部は1月22、23の両日、JA生活シーダーの伊東澄子さんを講師に「トールペイント教室」を開き、ウエルカムボードを作成しました。

サンタもお祝い!



花泉のふれあい野菜市の皆さんは12月10日、花と泉の公園で年祝いとクリスマス会を行いました。



功労賞を授与された伊東さん[◎]と菊池さん

県有種雄牛造成功労者に伊東孝さん

県有種雄牛の造成に多大な貢献

岩手県は1月9日、県有種雄牛の造成に多大な貢献をしたとして平成30年10月に県有種雄牛に認定された「菊勝久」の生産者、伊東孝さん（大東）と「平栄福」の生産者、菊池民雄さん（奥州）に県有種雄牛造成功労賞を贈りました。伊東さんは「初市式で授与され感慨深い。期待に応えられるような種雄牛として県産和牛の振興に役立ってほしい」と話しました。



活発な意見交換をする集落営農組織の代表者

組織の活性化に向け課題を共有

JA集落営農組織連絡協議会

JAは1月21日、JA集落営農組織連絡協議会とJA常勤役員との意見交換会を西部営農振興センターで開催しました。佐々木正会長は「各組織で栽培管理や組織の活性化についての課題を出してもらい今後の改善に向けてほしい」と話しました。高齢化や担い手不足による事業継承や後継者についての課題、支店再編についてなど多くの意見、要望が出されました。



JAいわて平泉提供の宝船

管内農産物の宝船初競り

今年も高値販売に期待

盛岡市中央卸売市場は1月5日、初市式と初競りを開き、JA管内のイチゴやリンゴなど8種類で作った「金色の風」と「いわて南牛」の肉を添えた宝船が前年より1万円高い8万円で競り落とされました。佐藤鉦一組合長は「幸先の良いスタートが切れ、今後の取り引きに弾みがあった。この勢いを加速させたい」と話しました。売上金は県社会福祉協議会に全額寄付しました。



おのおのが開発した商品と講師が開発した商品を持つ受講生

売れる特産品の一步踏み出す

6次産業化セミナー

JAは平成28年度から3年間、6次産業化に興味のある方を対象に、6次産業化セミナーを開催しました。延べ78人が受講。地元農産物を使ったドレッシングなどの製造販売を始めた受講生もおり、JAは今後も情報提供や個別相談など支援をしていきます。受講生の渡邊淳子さんは「起業のきっかけとなった。今後も商品開発にチャレンジしていきたい」と話しました。



表彰を受ける最優秀賞の渡邊さん④

環境制御で反収向上と安定生産へ

J Aいちご生産部会

J Aいちご生産部会は1月22日、通常総会を開きました。平成30年度は低温での生育の遅れや、4月以降の急激な気温の上昇で出荷量が減少しましたが、全国的な品薄から安定した単価で取り引き。31年度は、ハウス内環境をモニタリングし生育に合わせた栽培管理で反収の向上と安定生産を図ります。出荷優良者には最優秀賞に渡邊はる子さん（花泉）が選ばれました。



全国大会出場に意欲を見せる栗原課長代理

農産物鑑定会で最優秀者に

岩手県JA農産物鑑定会

第14回岩手県JA農産物鑑定会が12月19日、矢巾町環境改善センターで開催されました。県内6JAから25人が参加。営農振興課の栗原亨課長代理が最優秀者に選ばれ3月に行われる平成30年度JAグループ全国農産物鑑定会へ出場します。栗原課長代理は「結果に驚いたが鑑定技術をさらに磨きの確かな判断で全国大会でも頑張りたい」と話しました。



初競りに先立ち関係者らと鏡開きをする阿部幸文常務理事（左から5人目）

今年のと牛子牛取り引きにも期待

県南和牛子牛市場初競り

当JA管内のと牛子牛の初競りが1月10日、県南家畜市場で開かれ、雌96頭、去勢154頭を上場しました。最高値は140万760円で、平均価格は81万912円。佐藤鉦一組合長は「幸先の良いスタートとなった。TPP11の影響が懸念されるが、積極的な要請活動と黄金の郷づくり推進対策事業の充実で地域の畜産振興を図っていきたい」と話しました。



剪定方法を学ぶ参加者

適期の剪定で品質の確保を

J Aりんご部会

J Aりんご部会は1月17、18の両日、管内4カ所で剪定指導会を開き、64人が参加しました。苗木・若木の仕立てを小岩克宏部会長が、成木の仕立てを一関農業改良普及センターの薄衣麻里子主査が指導。薄衣主査は「花芽はおおむね昨年並みだが品種や圃場により花芽率が低いものも見られる。花芽の状態を確認しながら剪定を進めるように」と呼び掛けました。